研究テーマ　『源氏物語』の研究

所属　人文学部

教授　田村俊介

研究分野	日本文学
キーワード	玉鬘系後記説の批判的継承

研究室URL：

研究の背景および目的

平安時代の『源氏物語』。特に、藤原定家（1162－1240）が家の証本として作成した青表紙本が、紫式部の原本を忠実に伝えるものであることの立証に尽力しています。また、紫上系と玉鬘系の二重構造が、紫式部が意識的に造り上げたものであることの立証に力を注いでいます。



■主な研究内容

「河内本源氏物語の改竄ー尾州家本古写巻初期十一帖を中心にー」
（『富山大学人文科学研究』83。2025年9月）

「帚木・夕顔・末摘花から葵迄の河内本」
（『富山大学人文科学研究』84。2026年３月）

青表紙本系の本文（藤原定家が作成した証本）が紫式部の原本に近く、河内本系の本文は、中世に恣意的に書き替えられたものであることを述べた。

期待される効果・応用分野

■共同研究・特許など

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/shunsuke-tamura/